



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2005-2006年度RI会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

超我の奉仕

2005～06年度
第2590地区ガバナー
金杉 誠



SERVICE Above Self

会 長	山本 登	副 会 長	吉田 隆男
副 会 長	山木 幹夫	会長エレクト	小池 将夫
幹 事	江森 国一	クラブ会報	高田 修
S A A	吉橋佐千男	会 計	舘野 典久

- 事務局 / ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL:(314)3900 FAX:(314)3555
- 例会日 / 毎週金曜日 0:30～1:30 PM
- 例会場 / ホテルキャメロットジャパン
- 創立記念日 / 昭和51年5月29日
- URL / <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail / kerc@beach.ocn.ne.jp

【クラブテーマ】
原点に回帰。そしてロータリーを楽しもう。



撮影 高田 修 会員

【大口通商店街（大口通）】

2005-06年度 第31号 週報NO.1450

2006年(平成18年)2月24日 第1450回例会記録 3月3日発行

- | | |
|--------------|---|
| 司 会 | 飯田 泰之 副幹事 |
| 点 鐘 | 山本 登 会長 |
| 斉 唱 | 手に手つないで |
| ゲスト紹介 | |
| 伊ヶ崎陽子 様 | (スピーカー 同志社女子大学講師) |
| 杉本 瑠美 様 | (同志社女子大学現代社会学部現代こども学科2年
教材作成グループ代表) |
| 日詰 佑未 様 | (同志社女子大学現代社会学部現代こども学科2年
教材作成グループ副代表) |
| 辻 佳子 様 | (同志社女子大学現代社会学部現代こども学科2年
教材作成グループ) |
| 中山 祥子 様 | (同志社女子大学学芸学部英語英文学科1年
絵本英訳グループ代表) |

- ビジター紹介**
- 横浜保土ヶ谷 R.C 竹村 泰長 君
横浜鶴見北 R.C 林 道広 君

同志社女子大学『かたつむりの会』代表 伊ヶ崎陽子先生へ、本日クラブの30周年記念事業予算から25万円を『かたつむりの会』に贈呈いたしました。



《3月3日》のプログラム

- ◆ 斉 唱 君が代・奉仕の理想
- ◆ 献 立 仔牛のカツレツ
- ◆ 卓 話 「最近の建築を取り巻く問題について」
今泉 文博 会員

誕生日祝

伊東 英紀 君 (3月1日)



会長報告

山本 登 会長

◇ガバナー事務所より、次年度地区委員の方へ委嘱状が届いております。

米山学友副委員長 矢野 修二 会員
国際親善奨学金学友委員 河野 明光 会員
人道的補助金委員 青柳 紀 会員
国際青少年交換委員 月山 勇 会員

◇横浜日吉 R.C より、創立 10 周年記念式典出席のお礼状が届いております。

幹事報告

江森 国一 幹事

□3月1日より、ロータリーレートが1ドル118円(現行114円)に変更との連絡がありました。

□週報ご恵贈クラブ

川崎中 R.C、川崎とどろき R.C、川崎大師 R.C、横浜都筑 R.C

出席報告

山田 正憲 出席委員長

会員総数	62名	(45 + 17) 名
出席会員数	45名	(37 + 8) 名
出席率	82.22%	
ゲスト	5名	ビジター 2名
前回補正後	95.56%	前々回補正後 91.11%

スマイルボックス

吉橋 佐千男 SAA

林道広君(横浜鶴見北 R.C) 本日は御世話になります。

竹村泰長君(横浜保土ヶ谷 R.C) 本日はよろしくお祈り申し上げます。

山本登君 三寒四温と言いますが、寒さで風邪だか花粉症だか分からず、鼻がグズグズと息苦しくなっております。

伊東英紀君 誕生祝いありがとうございます。年金をもらう年になりました。

石川正三君 本日の卓話は若い女性の皆さんに御願いました。関西や北陸から遠路ワザワザおいで下さったことに感謝します。ご静聴の程を・・・。

青柳紀君 ①林さんようこそ!②本日のテーブルミーティングメンバーの皆様お忘れなく。

鴻義久君 伊ヶ崎陽子先生、本日の卓話よろしくお祈りします。

岩澤利雄君 社用とカゼで例会を連続サボりまして申し訳ありません。

河野明光君 山崎さん、昨日は色々ご相談に乗って頂き感謝

致します。

古川陽太郎君 同志社女子大学の伊ヶ崎先生、杉本さん、日詰さん、中山さん、辻さん、本日は御苦勞様です。卓話、楽しみにして居ります。

森永正昭君 伊ヶ崎先生、本日の卓話楽しみにして居ります。

盧康大君 横山さん、昨日は大変お世話になりました。ありがとうございます。

鈴木武君 感動!トリノオリンピックフィギュア荒川選手金メダル!

加藤仁昭君 3月3日、反町駅近くに女性専用岩盤浴の店を息子がオープンさせます。ボックスにパンフと招待券を入れましたので奥様や会社の女性スタッフの方が御利用頂けます様宜しくお願いします。

2月24日	14件	36,000円
本年度累計額		1,659,790円

卓話

30周年記念行事の一つをご紹介します ～国際理解月間に因んで～

同志社女子大学 講師 伊ヶ崎陽子 様

紹介者/報告者 石川 正三 会員



本日の卓話は、クラブの創立30周年記念事業のテーマの一つである『識字率向上』に合致した教育支援活動を進めている同志社女子大学の『かたつむりの会』の代表の方々を招き、クラブの記念事業として25万円の助成金を贈呈すると共に、作成した教材類と英訳付きの絵本を会員たちに披露し、その意図や具合的な使い方を実演してもらった。

◆制作テーマ

『英語と現地語を使った幼稚園の教材を作成』

絵本と一緒に、途上国の園児に贈ろう

◆発表メンバー

同志社女子大学『かたつむりの会』代表 伊ヶ崎 陽子 講師
(クラブが寄贈したスリランカの幼稚園に英訳付きの絵本を贈った立案者。34名の学生たちと『かたつむりの会』を結成。

途上国の子供たちの教育支援として、幼稚園の教師の為の教材作成と英訳付き絵本の翻訳を指導)

教材作成グループ (現代社会学部現代こども学科)

代表 杉本 瑠美 さん

副代表 日詰 佑未 さん

渉外担当 辻 佳子 さん

絵本英訳グループ (学芸学部英語英文学科)

代表 中山 祥子 さん



◆発表の内容

教材は、英語と日本語を使い、提供する国の文字が入る余白を設けてある。いずれも、カードの裏表を使ったもので、1) カルタカード (70 枚)、2) 影絵カード (29 枚)、3)、4) 数字とアルファベットのカード (100 枚)、5) 紙芝居、6) やってみようブック、それに 7) 園児と教師用のワークシートの 7 種類で 1 組。すべてが手書き手作り、掲示の用具もついており、十数人で取り組んでも、1 組仕上げるのに 45 日は掛かるという力

作。費用は、ラミネート加工をして 1 組が 2 万円前後とか。将来、教壇に立つ学生さんの作品だけに、子供たちが楽しみながら文字や発音を覚え、想像力や好奇心それに問題を発見する能力を育てる工夫が、どの教材にも様々な形で取り入れられているのが素晴らしい。『学ぶ意欲があっても、その方法がない貧しい国の子供たちのためにオリジナルな教材を考え、作りたい』『苦労して英訳した絵本には愛着がわき、離しづらくなったりするが、自分の手書きの訳文を、子供たちが喜んで読んでくれると思うと元気が出る・・・』という学生たちの抱負や制作の苦労話に、会員たちからねぎらいと励ましの大きな拍手がおくられた。

◆追記

『教材の実演はまずスリランカの幼稚園で・・・』

卓話のあと『かたつむりの会』の一行は東京で、30 年に亘りネパールの教育支援を実践している幼少児国際教育交流協会・代表の久野登久子女史と面談。現地の識字教育の実情を聞くと共に、教材と英訳付き絵本の作成主旨を説明し、女史から『皆さんの“この手作りの温もり”が、必ず現地の子供達の心に通じますよ』と励まされ、現地の幼稚園の紹介など全面的な協力を取り付けた。一行はこの後、クラブおなじみの OPOW 協会の鈴木一男会長とも意見交換をした結果、3 月中旬スリランカを訪問する鈴木会長に『作品類一式』を託し、まず現地の幼稚園で実際に使って貰うことになった。『かたつむりの会』では、4 月下旬に帰国する鈴木会長から、現地の先生方の率直な意見や子供達の反響を聞き、それを踏まえた「更に楽しく教育効果の高い」教材類の作成や英訳付き絵本の選定・訳文に取り組むことになった。なお 5 月 27 日に開催されるクラブの 30 周年記念祝賀会では、今回クラブで披露された作品類と共に、現地の幼稚園での実演の様子を写真で紹介する予定。

□□□□ 【地区公式文書】 4 分間情報 □□□□

15. ロータリー米山奨学事業のあらまし

(4) 米山学友の活躍

(2005 年 6 月 28 日現在)

1. 世界で活躍する米山学友

ロータリー米山記念奨学会では、「世話クラブ・カウンセラー制度」によって、心の通った奨学事業を実現し、これまでに 1 万人を超える優秀な奨学生を世に送り出してきました。日本のロータリアンを通じて、ロータリー精神に触れ、心をはぐくんだ米山学友は、いま世界を舞台に活躍しています。

<大使になった米山学友>

崔 相龍 (チュ・サンヨン) 氏【韓国／1969-72／東京大学大学院／東京日本橋 RC, 東京城西 RC】は、2000 年 2 月から 2 年間駐日韓国大使を務めました。現在は、高麗大学教授です。1998 年 2 月の金大中大統領訪日時には、日韓共同宣言をつく

る過程で政治学者として貢献するなど、新しい日韓の交流に大きな役割を果たしています。

<ガバナーになった米山学友>

第 3490 地区 (台湾) の 2005-06 年度ガバナーとして、米山学友の許 國文氏【1975-77 年度奨学生／徳島大学医学部／世話クラブ：徳島 RC】が選出されました。許氏は、台湾・羅東市にある羅東博愛病院の副理事長で、羅東西ロータリークラブに所属しています。

2005 年 2 月下旬にアナハイムで行われた RI 国際協議会では、日本人以外でただ 1 人、日本語セッションに参加。積極的に議論にも加わって、日本のガバナー・エレクトとの交流を大いに深めたとのこと。

なお、米山学友のガバナー誕生は、韓国の林 隆義氏【1997-98 年度第 3650 地区 P.G.】に次ぐ 2 人目で、台湾では初の快挙です。

<日本政府より叙勲を受けた米山学友>

在スリランカの米山学友、チャンドラシリ・フェルナンド氏【1982-84年／東北大学大学院／仙山西RC】は、平成15年度秋の叙勲で、日本政府より勲三等旭日中綬章を贈られました。フェルナンド氏は、国費留学生として来日後、1982-84年に米山奨学金を受けて、東北大学大学院にて公法学を学び、修士号を取得。帰国後は、スリランカ警察庁に入り、現在は警察庁長官の重職にあります。日本・スリランカ間の警察協力推進に寄与したほか、コロンボ市の治安が悪化した際には、在留邦人の保護のために情報提供や警備指導に尽力するなど、まさに母国と日本との懸け橋として活躍しています。

2. 拡大・進化する学友会活動

奨学期間を終えてからも、ロータリーとの交流を継続したいと希望する米山学友は少なくありません。このような学友の希望と、地区のロータリアンの支援によって、すでに国内に23、海外に2つ(台湾・韓国)の計25の米山奨学会学友会が設立されています。

学友会活動は、地区と連携した親睦・交流活動が主体ですが、最近では、学友らが自分たちの力を生かして、地域社会に貢献しようという取り組みも増えています。米山記念奨学会は、このような学友会の発展的な活動を歓迎し、積極的に支援していく方針です。

(財)ロータリー米山記念奨学会

16. ロータリー米山奨学事業のあらまし

(5) 米山奨学事業の変革

(2005年6月28日現在)

1. 2006年度制度改編のために

米山奨学金制度は、およそ5年ごとに、ロータリアン対象のアンケート調査(基礎調査)を実施して、制度見直しの基礎資料としています。

第1期米山奨学事業基礎調査は1999年に行われ、その結果を基に、多くのロータリアンの論議を経て、「指定校・大学推薦制度」などが確立されました。

第2期基礎調査は、2006年からの制度改編を前提に、2003年に実施されました。1,000人のロータリアンの声を集めたこの調査結果をもとに、米山奨学事業フォーラムを開催して、地区代表者に討議を重ねてもらい、既存制度の検証と新制度の検討を進めました。2005年6月の理事会・評議員会での最終協議を経て、2006年より新制度が施行されます。

2. 2006年からの新制度案

①現地募集採用型奨学金の試行

～日本留学のチャンスを提供し、“懸け橋”を育成～

現行の米山奨学金制度では、すでに日本の大学・大学院に在籍している留学生を対象としています。今回の制度改編プロセスでは、「日本に来ることさえできない人たちにも日本留学のチャンスを与えたい」との声が多く聞かれました。日本に留学しやすい近隣の国や、先進国の人だけでなく、経済的にまだ発展途上で、なかなか日本に留学するチャンスのない国の優秀な

人材を支援したいとの希望であり、それを実現するプログラムが、現地募集採用型奨学金の試みです。

このプログラムでは、いわば“丸抱え”で日本に呼び寄せることと引き換えに、奨学期間後は必ず帰国して母国の力となり、同時に日本と母国との友好の懸け橋となることを条件とする予定です。海外からの帰国組が母国で活躍できる環境が整っていることも候補国の条件となり、現在のところ、試験的な実施の候補国としては、ベトナムが有力です。

②地区の裁量で、特色ある留学生支援が可能に

ロータリーの特性を生かした「地域密着型奨学事業」を推進することも、2006年度制度改編の目的です。そこで、地区への奨学生割り当て数の一部に、「地区裁量枠」を設けることを提案します。

地区奨励奨学金(仮称)を新設して、この枠内で、大学・大学院以外の教育機関、例えば、短期大学や高等専門学校、一定の要件を満たした専修学校や日本語学校などで学ぶ留学生を支援の対象とすることを可能とします。近隣に大学がないために、米山奨学生との接点が少なかった地域にも世話クラブを拡げることができ、また、奨学金額は修士・博士課程の半額とする代わりに、1人分の枠で2人採用することができます。

どのような留学生を支援するか、現行制度以上に地区の自主性を尊重しようというのが提案の目的です(奨学金額は、理事会・評議員会で決定される全国統一のものとなります)。

ロータリアンにとって、常に“より身近な奨学事業”であるように、米山奨学事業はこれからも改革と見直しを進めてまいります。新しい米山奨学事業の展開に、引き続き温かいご支援とご協力をお願いいたします。

(財)ロータリー米山記念奨学会

担当者より

会報委員 盧 康大

<中国の食習慣>

「飲茶」とは広東省で、「お茶を飲みながら点心(軽食)を食べる」という中国南方の食習慣のことです。

中国人にとって、お茶は嗜好品というよりも必需品です。地方により、飲み方は多少異なる。「茶を飲む」という表現もちがっていて、南方では飲茶、華中では吃茶、北方では喝茶といえます。

広東や香港など南方では、茶に点心はつきものであり、北方では、お茶そのものを味わうことに重点がおかれている。

次回《3月10日》の卓話予定

「儲かる株式は何処にある？」

共和証券 春原正三郎 様 (神奈川R.C)
紹介者 雨宮 和則 会員